

サッカーJリーグ・セレッソ大阪、2026年東川町で 夏季キャンプを決定。

「スポーツまちづくりに係る包括連携協定（東川オフィシャルパートナー協定）」を4社で締結。

町は、2025年3月23日(日)、株式会社セレッソ大阪（本社大阪、代表取締役社長 森島 寛晃）、同チームスポンサーでサステイナブルな社会実現を目指す広告会社 株式会社ハヤシコーポレーション（本社大阪、代表取締役CEO 林 歳彦）、さらにトーホウリゾート株式会社（札幌市中央区、代表取締役 唐神 昌子）の3社と共に、「スポーツまちづくりに係る包括連携協定（東川オフィシャルパートナー協定）」を締結しました。

この協定により、2026-27シーズンからセレッソ大阪の夏季キャンプが東川町で実施されることが決定し、スポーツを通じた地域振興・観光促進・教育支援・環境保全などの取り組みが令和7年度から本格的に始動します。



●株式会社セレッソ大阪 代表取締役社長 森島 寛晃 コメント

セレッソ大阪が東川町でキャンプを実施できることを大変嬉しく思います。東川町の豊かな自然環境と温かい地域の皆様の支えが、選手たちの成長につながると確信しています。スポーツを通じた地域活性化に貢献し、町の皆様との交流を深めながら、新たな歴史を築いていきたいと考えています。今回の協定は単なるキャンプの実施だけではなく、「スポーツ教育」「地域の健康増進」「観光振興」「環境保全」といった多面的な連携を生み出し、子供たちへのサッカー教室や地域の皆様との交流イベントを積極的に開催し、今後も継続的な連携を図り、東川町と共に発展していけるよう尽力してまいります。



本協定を通じて、今後、以下4つのコンテンツを柱として様々な取り組みを予定しています。

1. サッカーキャンプの実施（セレッソ大阪は2026年6月に実施予定）
2. 地域住民・子ども向けのスポーツ教育・交流イベントの実施
3. 観光・地域活性化の促進
4. 持続可能なスポーツまちづくりの推進



【令和7年度から以下のプロジェクトを実施】

地域交流・農業体験による持続可能なまちづくりプロジェクト ～セレッソ大阪 × 東川町～

初年度となる今年は、本プロジェクトのテーマである「地域の人々×スポーツ」「環境問題×スポーツ」「未来のこども達×スポーツ」への取り組みの一環として、町の子どもたちがセレッソ大阪の選手と共に田植えや稲刈り、収穫などの農業体験を行う活動を開始します。

この取り組みは、ひがしかわゆめ公園内の体験農園（模範水田）で実施を予定しており、収穫されたお米は、これまで通り東川町の小中学校の給食で使うだけでなく、セレッソ大阪の選手が東川町で行うトレーニングキャンプの際の食事にも活用される予定です。子どもたちが選手と共に丹精込めて育てたお米が、自分たちとJリーグで戦うアスリートの力の源となる実体験は、郷土への誇りや食への感謝、地産地消への新たな気づきにつながることが期待されます。

スポーツと教育、そして地域資源の連携から生まれる「学ぶ」「働く」「食べる」「伝える」という一連のプロセスが、子どもたちにとって「町の未来」を考えるきっかけとなることを願い、持続可能なまちづくりと人材育成の新たなプロジェクトとして進めてまいります。